

会 議 録

会 議 名	令和元年度第2回小金井市民交流センター運営協議会		
事 務 局	市民部 コミュニティ文化課		
開 催 日 時	令和元年12月25日(水) 18時00分～20時05分		
開 催 場 所	小金井市役所第二庁舎8階 801会議室		
出 席 委 員	小林真理会長 桑谷哲男副会長 坂野勝一委員 星野幸子委員 五井由紀委員 村越桂子委員 津田野栄一委員 鈴木輝一委員 西田剛委員		
欠 席 委 員			
事 務 局	小金井市 コミュニティ文化課長 鈴木遵矢 コミュニティ文化課主任 津端友佳理 コミュニティ文化課主事 小野智広		
オブザーバー	市民交流センター指定管理者 1 野村不動産パートナーズ株式会社 施設管理マネージャー 原田亮 2 サントリーパブリシティサービス株式会社 館長 青木直人 支配人 岡本由紀子		
傍 聴 の 可 否	可		
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由		傍聴者数	1人
会 議 次 第	(1) 次期指定管理者の指定について(報告)		

	(2) 前回議事録の報告 (3) 今後小金井市民交流センターに実現してほしいこと・期待すること (4) その他
会 議 結 果	下記のとおり
会 議 要 旨	下記のとおり
提 出 資 料	(1) 令和元年度第1回小金井市民交流センター運営協議会議事録 (2) 令和2年度小金井市民交流センター事業計画書 (3) 令和元年度第2回小金井市民交流センター運営協議会次第 (4) 前回議事録の報告関連資料 (5) 議題「今後小金井市民交流センターに実現してほしいこと・期待すること」関連資料

1 議題へ入る前に事務局から説明

- (1) 指定管理者の人事異動に伴う紹介を行った。
- (2) 事前配付資料の確認、当日配付資料の確認を行った。
- (3) 会議の運営について事務局から説明を行った。

各議題の最後に指定管理者に対する意見や要望がある場合においては、それをまとめる（指定管理者へ指摘すべき点等について協議し、市に対して意見をすることが本協議会の所掌事務のため）。

2 次期指定管理者の指定について（報告）

事務局から次のとおり報告した。

令和2年4月1日から令和7年3月31日までの5年間を指定期間とする指定管理者の指定を行った。

指定にあたり、指定管理者選定委員会に諮問し、第1次審査及び第2次審査を経てこがねいしてい共同事業体を候補者に選定する旨の答申をいただいた。その後、令和元年第4回市議会定例会に、指定管理者の指定に係る議案を提出し、市議会における審議の結果、11月29日に開催された本会議において全会一致で可決された。

3 前回議事録の報告

前回運営協議会にて出された意見のその後の対応について、事務局が「前回議事録の報告関連資料」としてまとめた。

- ・委員から、以前福祉会館があった頃に、イベント連携を行ったかという質問。
→指定管理者から、イベント連携を行わなかったと回答。
- ・委員から、年間来館者の推移における過去3年度の減少要因について、なぜ分析が困難なのかという質問。
→指定管理者から、来館者の推移に大きく影響を与える貸館利用について主催者から来館者数以上の情報を収集していないため分析が困難であると回答。
- ・委員から、情報掲載において、提携先を広げることが検討してほしいと要望。
- ・委員から、風疹の予防接種を受けてほしいと要望
- ・委員から、監査委員からの過去の検討要望事項で、指定管理者としての全体の収支がわかる元帳の作成をすることが挙げられているが、その後作成しているかという質問。
→指定管理者から、指摘を受け、現在は作成していると回答。

4 今後小金井市民交流センターに実現してほしいこと・期待すること

冒頭に指定管理者から令和2年度事業計画について説明の後、協議した。

- ・委員から、施設利用にあたり申込みがわかりにくいこと、市民交流センター以外の施設も合わせた予約システムの導入ができないかや現金以外の支払い手段の導入ができないかという意見。
→委員から、市民交流センターは指定管理者のシステムを運用しているため他の施設との統一が難しいという意見。
→委員から、現在の抽選会の問題点が何かという質問。
→指定管理者から、現在は抽選会やその後の手続きに長い時間を要しているの
で改善を検討していると回答。
- ・委員から、フリーWi-Fiが設置されているかという質問。
→指定管理者から、大・小ホールの利用者を対象にしたインターネットの有線設備はあるが、フリーWi-Fiについては導入の検討段階であると回答。
- ・委員から、若い世代が来館するようなイベント（例：映画）の発掘という意見。
→委員から、アンケートを活用して、市民が要望するイベント（どんなジャンル等）を吸い上げてほしいという意見。

→委員から、若い世代だけでなく中高年層向けに演歌はどうかという意見。観客と一緒に歌うようなコンサートが行われ、盛況であったと聞いた。

→委員から、これまでターゲットにしてこなかった方向けのイベントの発掘という意見。

→委員から、映画上映だけでなくライブビューイングを行うのはどうかという意見。

→委員から、今年度実施された自主事業のコンサートでアーティストの共演者として中学生が参加していたことに驚いた。そういう企画をしてほしいという意見。

→委員から、強味であるクラシック音楽以外の開拓をしてほしいという意見。

- ・委員から、1階にコンシェルジュを常駐してほしいという意見
- ・委員から、スペースNの共有スペース以外の新たな活用（例：子育て世代の親子に向けての開放）の発掘という意見。また、スペースNを学習場所として開放するのは望ましくないという意見や、それに対して学習場所としての利用が将来の観客になるための、理解者になるための最善の方法であるという意見。
- ・委員から、オリンピック・パラリンピック開催時の訪日外国人向けのイベントの展開は難しいという意見。
- ・委員から、指定管理者で貸館利用者がどのような利用をしているかのアンケートをとってほしいという意見。
- ・委員から、新福祉会館の建設に向けて利用者の利便性確保の議論が市民参加の会合で数回行われた。その内容を参考にして当館の優位性を維持し将来の利用者数が減少しないように対応してほしいという意見。
- ・委員から、集客に繋がる広報活動の方法を考えてほしいという意見。
- ・委員から、市内の団体と何か連携してほしいという意見。
- ・委員から、商工会との連携でさくらポイントの活用について考えてほしいという意見。
- ・委員から、当館があらかじめテーマを利用者に提示して一定の期間に貸出し企画（例：4月の2週間は桜をテーマにした催し物に貸出しする）を行うようなアプローチはどうかという意見。
- 委員から、市民協働や市民交流に繋がるのではないかとという意見。
- ・委員から、市民交流センター内で行われていることが外からわからない。看板を活用できるようにしてほしいという意見。

→委員から、正面入口から入った際にどこで何をやっているのかが一目でわからない。モニター以外の周知の工夫を検討してほしいという意見。

- ・委員から、指定管理者がスタッフの働き方についてしっかり検討してルールを設けた上で、様々な要望に取り組んでほしいという意見。
- ・委員から、指定管理者と市が協力して文化行政を引っ張ってほしいという意見。

⇒上記の議論を踏まえ、運営協議会として、次のとおり要望・質問をまとめ、市又は指定管理者に確認することとした。

- 1 フリーWi-Fiの設置などインフラ整備を進めてほしい。
- 2 新福祉会館が設置されることによる影響を検討し、利用者数が減少しないように対応してほしい。
- 3 さくらポイントの活用など商工会との連携を検討してほしい。
- 4 新たな客層に向けた新しいジャンルの開拓などに取り組んでほしい。
- 5 助成金等の収入確保や効率的な運営による支出削減をしてほしい。
- 6 市民と協働して公演の企画や運営をしてほしい。